1 階数 (ランク)

1.1 ランクの定義

 $A(m \times n$ 行列) について

- 1 部分行列が正則であるような最大のサイズ
- 21次独立な行,列ベクトルの最大の数
- $3 A: \mathbb{R}^n \to \mathbb{R}^m$ として像空間の次元 $\dim(\operatorname{Im} A)$
- $4 A: \mathbb{R}^n \to \mathbb{R}^m$ として核の余次元

ランクはトラス構造の安定性やグラフの剛性の解析に使う.

1.2 ランクの性質

- $1 \ r(AB) \le \min\{r(A), r(B)\}$
- 2 S, T が正則行列だとすると r(A) = r(SAT)
- $3 r([A:B]) \le r(A) + r(B)$ 転置をとって縦に連結しても同様.

$$4 r\begin{pmatrix} A & B \\ C & D \end{pmatrix} \ge r(B) + r(C)$$

$$5 r(A+B) \le r(A) + r(B)$$

$$6 r(ABC) \ge r(AB) + r(BC) - r(B)$$

1.3 ランクの性質の証明

1の証明について.

Binet-Cauchy の定理 $\det(AB) = \sum_{J} \det A[J] \det B[J]$

2の証明について.

 $r(SAT) \le r(A)$ かつ $r(A) = r(S^{-1}(SAT)T^{-1}) \le r(SAT)$ より

3の証明について.

r([A:B]) について A,B のなかに従属している縦ベクトルがあるかもしれないので.

- 4の証明について.
- 4の証明について.